

政策評価の標準化・重点化

平成25年12月24日
総務省行政評価局

経済財政諮問会議(5/20)で新藤大臣が説明した取組の具体化(「経済財政運営と改革の基本方針」(6/14)上の取組としても位置付け)

「目標管理型の政策評価の実施に関するガイドライン」策定(政策評価各府省連絡会議了承)、来年度実施

標準化

各府省共通の5区分により、施策の進捗状況を横断的かつ分かりやすく把握することが可能に

<5区分のイメージ>

- ・目標超過達成
(指:○or◎、主指:◎)
- ・目標達成
(指:○or◎、主指:○)
- ・相当程度進展あり
(指:一部×、主指:≐○)
(現取組継続→達成近い)
- ・進展が大きくない
(指:一部×、主指:≠○)
(現取組継続→達成遠い)
- ・目標に向かっていない
(主指:全or一部×、進展なし)

評価実施(時間)

指…測定指標

主指…主要な測定指標

○…達成

◎…大幅に上回って達成

×…未達成

≐○: 達成に近い未達成

≠○: 達成に近くない未達成

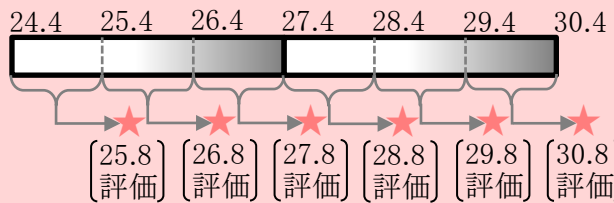
重点化

実施時期の重点化

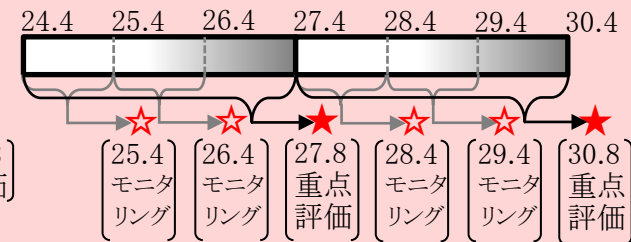
単に毎年度評価を実施するのではなく、施策の節目にあわせて実施

(評価未実施の年度は、モニタリングで進捗管理)

<これまでの例>



<これからの例>



内容の重点化

目標達成状況のチェックだけでなく、下記の深掘りをして踏み込んだ評価へ

- ① 事前に想定できなかった要因の分析
- ② 達成手段の有効性・効率性の検証
- ③ 未達成となった原因の分析
- ④ 目標の妥当性と必要な見直し